

### 1. 清らかな水とジュンサイの阿賀野 村岡のため池

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
じゅんさい池	じゅんさい池は明治以前に造られた農業用ため池で地域の農地2haを灌漑しています。平成22年3月全国の「ため池百選」の一つに選ばれています。その名のとおり夏には水面一面にジュンサイが繁茂し、6月に丸太イカダに乗って行う「ジュンサイ摘み」は集落の年中行事になっています。また、貴重な水中植物のほか多様な生き物が生息する環境が維持・形成されており、地元自治会では草刈、ごみ拾い、遊歩道の整備を行っているほか、植樹も行い池の環境整備に努めています。	阿賀野市村岡	村岡自治会	ため池

### 2. 県最大の水量誇る 阿賀野川の用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
阿賀野川頭首工	阿賀野川両岸に広がる4市（新潟市、新発田市、五泉市、阿賀野市）の水田13,000haに水を供給する県内最大の取水施設で昭和38年から昭和59年に国営事業によって整備されました。農業用水のほか、新潟臨海工業用水、新潟東港地域水道用水、阿賀野市の上水道もこの施設で取り入れています。	阿賀野市小松	新潟県（阿賀用水右岸、阿賀野川左岸土改連合）	頭首工
新江幹線用水路	1734年に水不足に悩まされていた阿賀野川右岸の人々が新発田藩から幕府に願い出て水路を開削しました。延べ4万3千人を超える人々と千両を超える資金を投入し、僅か10ヶ月で33.6kmの水路を完成させ、凶作のときも人々を飢えから救ったという話が残っています。現在は阿賀野川頭首工で取り入れた農業用水を2,300haの農地へ灌漑しています。両岸約5kmに咲く桜は地域の人々に今も安らぎを与えています。	阿賀野市六野瀬～新潟市北区長戸呂	阿賀用水右岸土改連合（管理受託）	用水路
西幹線用水路放水路	阿賀野川頭首工から取り入れた農業用水の残水を東大通川へ放流するための水路です。定期的な保全活動と併せて周囲は植栽され、地域の親水空間として利用されています。	新潟市秋葉区	新津郷土地改良区	用水路
県営低位部第三号支線用水路	阿賀野川頭首工から取り入れた農業用水が集落を流れているため、定期的な保全活動と併せて周囲は植栽され、沈砂池での魚のつかみ取りなど地域の親水空間として利用されています。	新潟市秋葉区	新津郷土地改良区	用水路
まさくら水辺の里	平成10～11年に土地改良事業により整備された延長500mの水路で市民公募により「まさくら水辺の里」と命名されました。細い枝を束ねた「そだ」が使われ自然に近い護岸は景観と水辺の生き物に優しい構造になっています。隣接地には遊歩道・休憩施設も整備され地域の憩いの場になっています。	新潟県五泉市川瀬	五泉市（まさくら水辺の会に親しむ会）	排水路
瓢湖（外城堤）	瓢湖（外城堤）は江戸寛永16年（1639）に灌漑用水や洪水時の調整池として造成された水源施設でしたが、現在はその役割を阿賀野川の用水施設や福島潟を守る排水施設に譲っています。昭和29年に日本で初めて野生の白鳥の餌づけに成功してから白鳥の飛来地として天然記念物に指定され、平成20年にはラムサール条約の登録湿地となりました。ピーク時には5,000羽を超える白鳥が羽を休める冬の新潟を代表する観光地です。	阿賀野市水原	阿賀野市	貯水施設

### 3. 宝珠山の緑が映える 沢田排水路

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
沢田排水路	沢田排水路は平成12年から平成19年に地域住民や小学生と一緒に、環境に配慮した整備が行われた排水施設です。特産の自然石を使い生態系に優しい空石積（からいしづみ）の水路に改修しました。期待通り魚種が倍近くに増えるなど多様な水生生物の生息が確認されています。	阿賀野市沢田	阿賀野川土地改良区	排水路

### 4. リニューアルした 阿賀町豊実の新渡用水路

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
新渡用水路	新渡用水路は阿賀町豊実新渡地域の農地6haを灌漑するための用水施設です。江戸初期から利用されている全長2.5kmの山腹土水路で維持管理に苦労していましたが、平成23年までに水路を管路化するリニューアル工事を終え、これからも地域の農業を支えます。	東蒲原郡阿賀町豊実	新渡農家組合	用水路

### 5. 良寛の里に稔りの息吹 出雲崎 神条のため池

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
第1～4号ファームポンド	これらのファームポンド（ため池）は出雲崎町神条の農地26haを灌漑するための水源施設です。渓流水も少ない5a程度の未整備地域で田越し灌漑で用水管理に苦労の多いところでしたが、近年、ほ場整備と併せ水源施設を整備し近代的な農業ができるようになりました。	三島郡出雲崎町大字神条	神条生産組合	ため池

6. 奴奈川姫の郷に抱かれる 西頸城のため池				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
甲池・乙池	甲池・乙池は旧能生町藤崎地区の農地21haを灌漑するための水源施設です。昭和12年に造られ甲池(貯水量2万㎡)、乙池(貯水量1万㎡)で平成10年改修が行われ地域住民とともに保全活動が行われています。	糸魚川市藤崎	丸山用水組合	ため池
集田ため池	集田ため池は旧能生町高倉地域の農地10haを灌漑するため明治初期に造られた水源施設です。高倉集落ではため池(貯水量約3万㎡)周辺を遊歩道として都市農村交流や地域活性化に取り組んでいます。	糸魚川市高倉	高倉集落	ため池
山寺ため池	山寺ため池は糸魚川市山寺地区の農地3haを灌漑するための水源施設です。慢性的な水不足を解消するため平成18年に造られ地元住民が芝桜を植えて大切に管理しています。	糸魚川市山寺	糸魚川市土地改良区	ため池
水頭ため池	水頭ため池は糸魚川市大和川地域の農地45haを灌漑するための水源施設です。ため池は貯水量約3万㎡で昭和10年に釜沢用水を引いて造られました。森林公園に隣接し緑豊かな景観の中でキャンプや散策に多くの市民が訪れます。	糸魚川市大和川	糸魚川市土地改良区	ため池

7. ジオサイト 姫川渓谷の取水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
稲荷頭首工	稲荷頭首工は姫川右岸の農地22haを灌漑するための取水施設です。ジオは地球、大地という意味で科学的に特に貴重な地質遺産を観察できる場所がジオサイトです。糸魚川ジオパークには18のジオサイトがあり施設はその1つ姫川渓谷ジオサイトにあります。我が国屈指の急流の姫川(勾配1/110)は洪水時、大きな岩石が轟音とともに流れるため、施設は頑丈なコンクリート固定堰ですが鮎の魚道を設け自然と共生しています。	糸魚川市姫川右岸	糸魚川市土地改良区	頭首工

8. 江戸の昔から山を縫い 水を届ける西頸城の山腹水路				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
釜沢用水路	釜沢用水は糸魚川市大和川地区原山の農地を灌漑するための用水施設です。江戸元禄14年(1701)海川支流の不動川から大和川の覗木戸までの用水開削が行われ、現在も西海、大和川地区の棚田の灌漑とともに防火や消雪にも利用されています。また栗倉地区の水路脇には梅花藻(バイガモ;希少種)が可憐な花を咲かせています。	糸魚川市西海～大和川	糸魚川市土地改良区	用水路
西側用水路	西側用水路は早川左岸の農地85haを灌漑する用水施設です。新田開発を行うため早川上流焼山川から取水する明治30年に完成した全長18kmの急峻な山腹を縫う開水路と素堀トンネルからなる山腹水路です。農業用水のほか生活、防火、消融雪などに利用され、近年学生ボランティアとともに地域で大切に維持管理を行っています。	糸魚川市早川左岸	糸魚川市土地改良区	用水路
大山用水路	大山用水路は糸魚川市砂場、北山地区の農地49haを灌漑する用水施設です。早川上流西尾野川を取水口として江戸弘化4年(1847)に完成した全長10kmの急峻な山腹を縫う開水路と素堀トンネルからなる山腹水路です。北山地域の棚田の灌漑のほか生活、防火、消融雪に利用され児童によって用水に生息する梅花藻の保護活動も行われています。	糸魚川市北山	糸魚川市土地改良区	用水路
東側用水路	東側用水路は糸魚川市早川右岸の農地83haを灌漑する用水施設です。新田開発を行うため早川上流火打山川から取水する明治25年に完成した全長22kmの急峻な山腹を縫う開水路と素堀トンネルからなる山腹水路です。農業用水のほか生活、防火、消融雪などに利用され、近年棚田サポーターとともに地域で大切に維持管理を行っています。	糸魚川市早川右岸	糸魚川市土地改良区	用水路
来海沢上江用水	来海沢上江用水は糸魚川市来海沢集落の農地17haを灌漑する用水施設です。ジオは地球、大地という意味で科学的に特に貴重な地質遺産を観察できる場所がジオサイトです。施設は海谷渓谷ジオサイトにあり渓谷から取水する明治25年に造られた全長3kmの山腹水路で今も地域住民が大切に維持管理しています。	糸魚川市来海沢	糸魚川市土地改良区	用水路

9. 紅葉を湖面に映す 鏡ヶ池				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
鏡ヶ池	鏡ヶ池は旧入広瀬村の玄関口にあり、大柵山地区の農地21haの補給水源です。女神が水面を鏡にわりに髪をとかしたという伝説が残り、心安らぐ景観や周囲の桜並木、ブナ林は訪れる人々を四季折々にもてなします。	魚沼市大柵山	魚沼市	ため池

10. 配分が一目で分かる 円形分水工 小出郷の用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
小出郷第1頭首工	小出郷第1頭首工は旧小出町、旧湯之谷村地域の農地767haを灌漑するための農業用水を佐梨川から取水する施設です。昭和31年に初代施設が建設され平成10年に現在の頭首工に改築されました。ここから取入れた農業用水は魚沼市街地を流れるため、夏には涼を呼ぶ水音を奏で、冬には排雪などで地域の暮らしに欠かせない用水となっています。	魚沼市碓氷	魚沼市土地改良区	頭首工
円形分水工	円形分水工は小出郷第1頭首工から引いた農業用水を小出支線用水と伊米ヶ崎支線用水に正確に分ける施設です。円形分水工は円筒分水工ともいい、円筒中央部から湧き上がった水が放射状に広がり、外側の円筒に設けられている仕切り板によって分水される仕組みです。円筒の比で流量が決まるため調整が容易なことから、分水比が一目で分かるため、公平さが誰にでも理解しやすい施設です。昭和34年に造られた最初の分水工が老朽化したため平成16年度に現在の施設に改修されました。県内にある円筒分水工の中で一番大きく、唯一現役の施設で子供たちの総合学習の場としても活用されています。	魚沼市上原	魚沼市土地改良区	用水路

**1 1. 水路施設の展示場 上ノ原用水路**

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
上ノ原用水路	上ノ原用水路は守門岳の麓から水を引き、魚沼市大白川地区の農地60haを灌漑する全長約12kmにも及ぶ用水施設です。昭和20年に造成が始まって以降改修を重ね、トンネル、暗渠、サイフォン、土水路、コンクリート水路と様々な形の水路が見られます。ブランド米 魚沼コシヒカリを支え地域の暮らしに欠かせない用水路です。	魚沼市大白川	魚沼市土地改良区	用水路

**1 2. 豪雪の暮らしを支える 魚野川左岸幹線用水路**

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
魚野川左岸幹線用水路	魚野川左岸幹線用水路は魚沼市青島から下島地内の農地347haを灌漑するための用水施設です。昭和26年着工後、魚野川左岸頭首工、向山隧道、揚水機場などの難工事を経て昭和41年によりやく完成しました。ブランドの魚沼コシヒカリの生産を支え積雪が3mを超える豪雪地の暮らしに欠かせない消流雪用水などにも利用されます。小学生が地域の歴史を学ぶ教育の場としても利用されています。	魚沼市十日町～下島	魚沼市土地改良区	用水路

**1 3. 鳥屋ヶ峰貫く 守門 大蔵隧道**

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大蔵隧道	大蔵隧道は旧守門村の大倉鳥屋ヶ峰を貫き地域の農地69haを灌漑するための用水施設です。昭和26年から4年の歳月をかけて造られた全長1,657mのトンネルで湧水や落盤で難儀したと記録誌にあります。隧道工事で厄介者だった湧水は今では簡易水道の水源として利用されています。	魚沼市大倉	魚沼市土地改良区	用水路

**1 4. 山を縫い水を届ける 原堰用水路**

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
原堰用水路	原堰用水路は和田川の広神ダムから取水して旧広神村の農地232haを灌漑するための用水施設です。江戸享和元年(1801)金井初右衛門(第4代惣兵衛)が和田川の水を三里余の岩肌を這うように掘った水路が、江戸嘉永6年(1853)の干ばつでも小平尾(おびろお)村に豊作をもたらしたと伝えられています。昭和48年和田川頭首工から全長3.3kmの原堰用水路が造られましたが、現在は広神ダムに沈んだ和田川頭首工に代わって発電用水出口から分水し小平尾を含む9集落の農地を灌漑しています。	魚沼市小平尾	魚沼市土地改良区	用水路

**1 5. 小千谷 山谷の農地を守る防災ダム**

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
太田ダム	太田ダムは小千谷市山谷地域の農地64haの灌漑と下流の水害予防のための貯水施設です。大正11年(1922)に開田25haの水源として太田川を堰き止めて造られましたが、洪水調整もできるよう昭和62年から平成11年にかけて防災ダム事業で整備されました。	小千谷市大字山谷	小千谷土地改良区 (管理委託)	ダム

16. 全国初の国営かんがい排水事業で造成された用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
小千谷頭首工	我が国最初の国営かんがい排水事業として昭和21年から始められた信濃川左岸地域5,400haを灌漑する用水施設です。小千谷市から長岡市に至る信濃川左岸地域は江戸時代から水争いの絶えない地域でしたが、信濃川からの自然取水樋門、渋海川の頭首工、水不足への地域へ送水するための幹線用水路などが造られ今も地域の農業を支えています。	小千谷市千谷川	信濃川左岸土地改良区	頭首工
国営農業水利事業4号幹線用水路5号トンネル	我が国最初の国営かんがい排水事業で造られた4号幹線用水路のトンネルです。渋海川は雪解けの時期を除くと水量が少なく、この川を水源とする地域は江戸時代から昭和25年まで約400年もの間水争いが絶えませんでした。昭和25年の渇水時、新聞には「鉄振るう七百農民、かがり火焚いて対峙」と報道されています。昭和26年全長2kmのこのトンネルが開通し信濃川の水が届くようになって水争いに終止符が打たれました。	小千谷市片貝町～長岡市朝日	信濃川左岸土地改良区	用水路
渋海川頭首工	渋海川から農業用水を取水する施設です。渋海川は雪解けの時期を除くと水量が少なく、この川を水源とする地域は江戸時代から昭和25年まで約400年もの間水争いが絶えませんでした。昭和25年の渇水時、新聞には「鉄振るう七百農民、かがり火焚いて対峙」と報道されています。現在の施設は平成8年からの広域河川改修事業で改築された2代目の施設です。	長岡市岩田	信濃川左岸土地改良区	頭首工

17. 日本有数の河岸段丘へ水を押上げる用水施設群				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
清津川揚水機場	桔梗原頭首工で取水された農業用水を桔梗原と清津川右岸段丘の水田340haへ送水する用水施設です。高低差164mの高台へ出力1,350kwのポンプ2台で毎秒最大1.2m <sup>3</sup> を送水できます。昭和44年に造成され送水する高さは県内最高です。	十日町市程島地内	中里土地改良区	用水機場
越路原揚水機場	越路原揚水機場は標高215mの長岡市越路原の水田200haと畑40haを灌漑する用水施設です。昭和44年に建設され渋海川から152mの高低差を中継なしで一気に口径700mmの送水管でポンプアップします。	長岡市東谷荒瀬島	越路原土地改良区	用水機場
池ヶ原揚水機場	池ヶ原揚水機場は高低差140mの高台の農地70haへ送水する用水施設です。戦後の食糧増産時代に信濃川の河岸段丘を開田するため昭和45年に造られた施設で、水田で使われた水はもう一度ため池に貯め生活用水や防火用水として何度も利用しています。	小千谷市大字塩殿	池ヶ原土地改良区	用水機場
小栗田原揚水機場	小栗田原揚水機場は高低差50mの河岸段丘にある農地400haを灌漑する用水施設です。小栗田原には水がなく豆、大根、蕎麦しか作れない原野でしたが、昭和37年から昭和44年までに用水施設の整備と併せ、当時としては最先端の1区画30a区画で開田されました。平成22年にはポンプ設備や揚水機を更新し一気に段丘へ送水できるようになりました。	小千谷市三仏生	小千谷土地改良区	用水機場

18. 柏崎・刈羽の農地を潤すダム群				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
後谷ダム	後谷ダムは柵ヶ原ダム、市野新田ダム(現在工事中)とともに柏崎市、刈羽村の水田3,590haを灌漑する国営柏崎周辺地区で建設され平成22年に供用開始した水源施設です。ダムはゾーン型フィル形式、堤高27m、堤長288m、総貯水量115万m <sup>3</sup> で、隣接したアウトドア体験施設からダムを一望でき、千本のローソクでダムをライトアップする「万灯会」が毎年開催されるなど地域の憩いの場にもなっています。	柏崎市西山町	柏崎土地改良区	ダム
柵ヶ原ダム	柵ヶ原ダムは後谷ダム、市野新田ダム(現在工事中)とともに柏崎市、刈羽村の水田3,590haを灌漑する国営柏崎周辺地区で建設され平成22年に供用開始した水源施設です。ダムは重力式コンクリート形式、堤高52m、堤長152m、総貯水量247万m <sup>3</sup> で建設される3ダムで最大の貯水量です。	柏崎市高柳町柵ヶ原	柏崎市	ダム
市野新田ダム	市野新田ダムは柵ヶ原ダム、後谷ダムとともに柏崎市、刈羽村の水田3,590haを灌漑する国営柏崎周辺地区で建設中の水源施設です。ダムはゾーン型フィル形式、堤高26m、堤長199m、総貯水量169万m <sup>3</sup> で建設される予定です。	柏崎市市野新田	建設中	ダム

19. 直江兼続公ゆかりの藤井の堰				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
藤井頭首工	藤井頭首工は鯖石川にある灌漑のための取水施設です。約400年前、与板城主であった直江兼続公が新田開発のために造った堰が起源となっています。江戸承応3年(1655)には刈羽郡奉行の青山瀬兵衛によって新たな藤井堰と川の両岸に水を引く東江・西江が造成されるの収量が飛躍的に安定しました。幾度となく移転改修を繰り返しながら今も地域の農業を支えています。	柏崎市大字平井	柏崎市	頭首工

20. 射流分水で喧嘩治めた 善根堰				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
善根堰	善根堰は藤井頭首工の上流にあり農地512haを灌漑するための取水施設です。下流の藤井堰とは取水量で争いがありましたが、昭和53年の善根堰改修時に水を正確に分けるため、水路に速い流れ(射流)を発生させて流速を一定にして水を分ける射流分水工を設けることで水争いは解決しました。	柏崎市大字善根	柏崎土地改良区	頭首工

2 1. 鶺川下流の農業を支える取水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
古町頭首工	古町頭首工は鶺(う)川下流の農地340haを灌漑するための取水施設です。昭和29年に県管かんがい排水事業で造成され、昭和63年にため池等整備事業で改築されました。鶺川上流に建設中の市野新田ダムと共に地域の農業に必要な用水の安定的供給に貢献しています。	柏崎市大字古町	柏崎土地改良区	頭首工

2 2. 大ナマズ 川に鎮座の下条大堰				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
下条大堰	下条大堰は地域の農地15haを灌漑するための取水施設です。ゴム引布でできた筒型の袋に空気を入れて膨らませて水をせき止めるラバーダムで、取水しないときは小さくなっていますが、取水時には袋を膨らませ川の水位を上げます。地域の景色に溶け込み大ナマズのように見えます。	加茂市大字上下条	加茂市	頭首工

2 3. 白根郷・加茂郷・田上郷 3郷の農業を支える用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大島頭首工	大島頭首工は信濃川から取水し、白根郷、加茂郷、田上郷（新潟市南区、加茂市、田上町）の3郷4,237haを灌漑する取水施設です。平成5年に国営事業で建設され左岸で取水した後、左岸側の白根郷へは水路で、右岸側の加茂郷、田上郷へは信濃川を500mの水管橋で渡った後、パイプラインで圧送しています。	三条市萩島	新潟県	頭首工
新飯田分水路	大島頭首工から取水した白根郷の農業用水を2つの用水路に分水するための施設です。超音波による流量計を備え大島頭首工からの遠隔操作で正確に分水します。国道8号の脇にあり、水路上に建つ上屋がドライバーの目を引く施設です。	新潟市南区	白根郷土地改良区	用水路

2 4. 小京都 加茂に融け込む 上江川用水路				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
上江川用水路	上江川用水は新潟の小京都と呼ばれる加茂の街並みを流れる用水施設で、江戸万治3年(1660)から灌漑用水と生活用水のために加茂川から水を引いています。用水に掛かる小橋や水車は古都の情緒を醸し出しています。	加茂市若宮	加茂市	用水路

2 5. 嵐北の農地や集落を守る排水機場				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
新川排水機場	五十嵐川右岸地域は五十嵐川の北にあることから嵐北と呼ばれています。この地域は洪水被害の常襲地域でしたが新川排水機場が新設されたことで農地の生産性は格段に向上したほか、地域の農地や集落を豪雨から守っています。	加茂市天神林	三条土地改良区	排水機場